

男女平等、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和) 理想と現実のギャップが明らかに!

～平成30年度島田市の男女共同参画に関する市民意識調査報告～

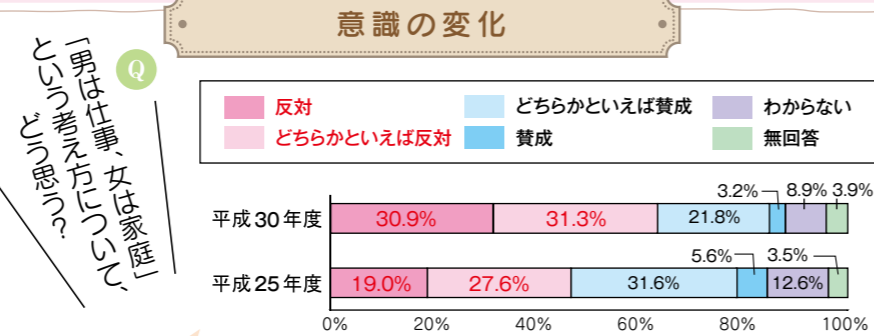


“平成30年度島田市総合計画市民意識調査”
20歳以上の市民2500人を対象に郵送により実施しました。
実施期間:6月21日～7月31日
有効回収率:38.1%
回答者の割合:男性 44.1% 女性 53.7%

男女共同参画社会づくりを進めるため、市では平成26年度から平成30年度までの「第2次島田市男女共同参画行動計画」を策定し、取組を行ってきました。現計画が今年度で終了するにあたり、今後の計画づくりの参考とするため、男女共同参画に関する市民意識調査を実施しました。

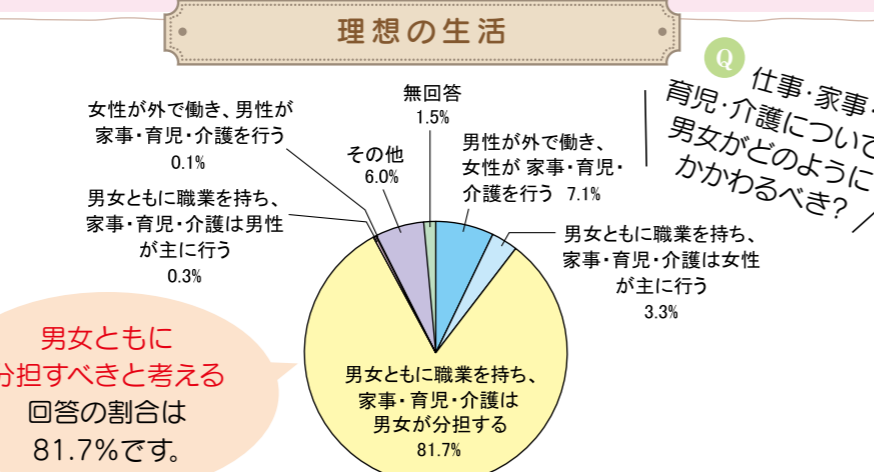
調査は「①男女共同参画の意識・慣行について」、「②仕事・家事・育児・介護への男女のかかわりかたについて」、「③女性が職業を持つことについて」、「④生活の中での優先度について」、「⑤男女平等について」、「⑥男女共同参画を進めるため、市に希望する取り組みについて」の6つの設問で行いました。

今回の調査結果をご覧ください、皆さんの生活や仕事における男女共同参画を考えてみませんか。



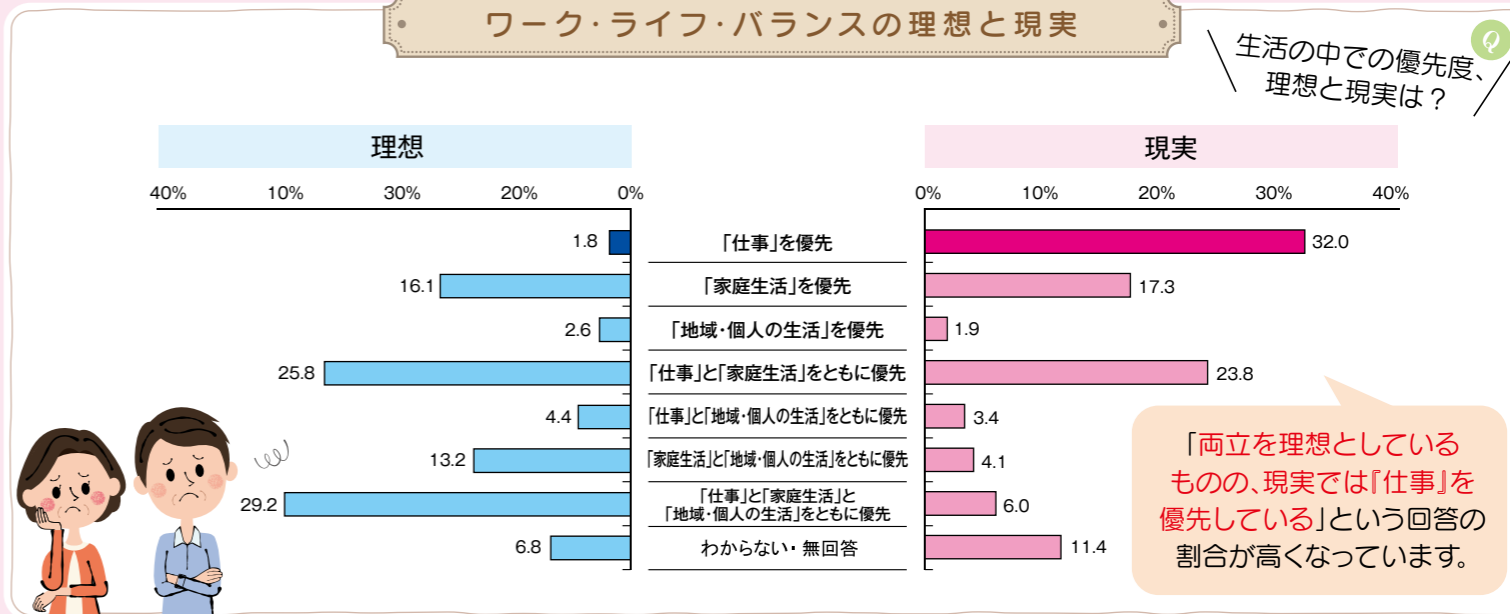
「男は仕事、女は家庭」
という考え方が
減っている

性別役割分担意識の考え方に反対する回答の割合は62.2%、
前回から15.6ポイント増えています。



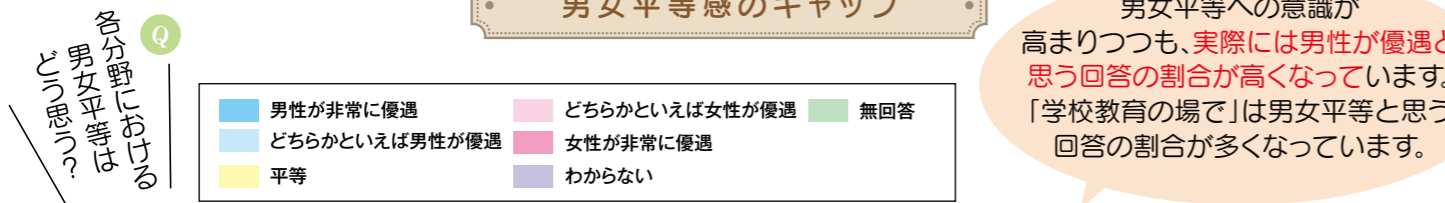
「仕事・家事・育児・介護について、男女がどのようにかかわるべき?」

男女ともに
分担すべきと考える
回答の割合は
81.7%です。

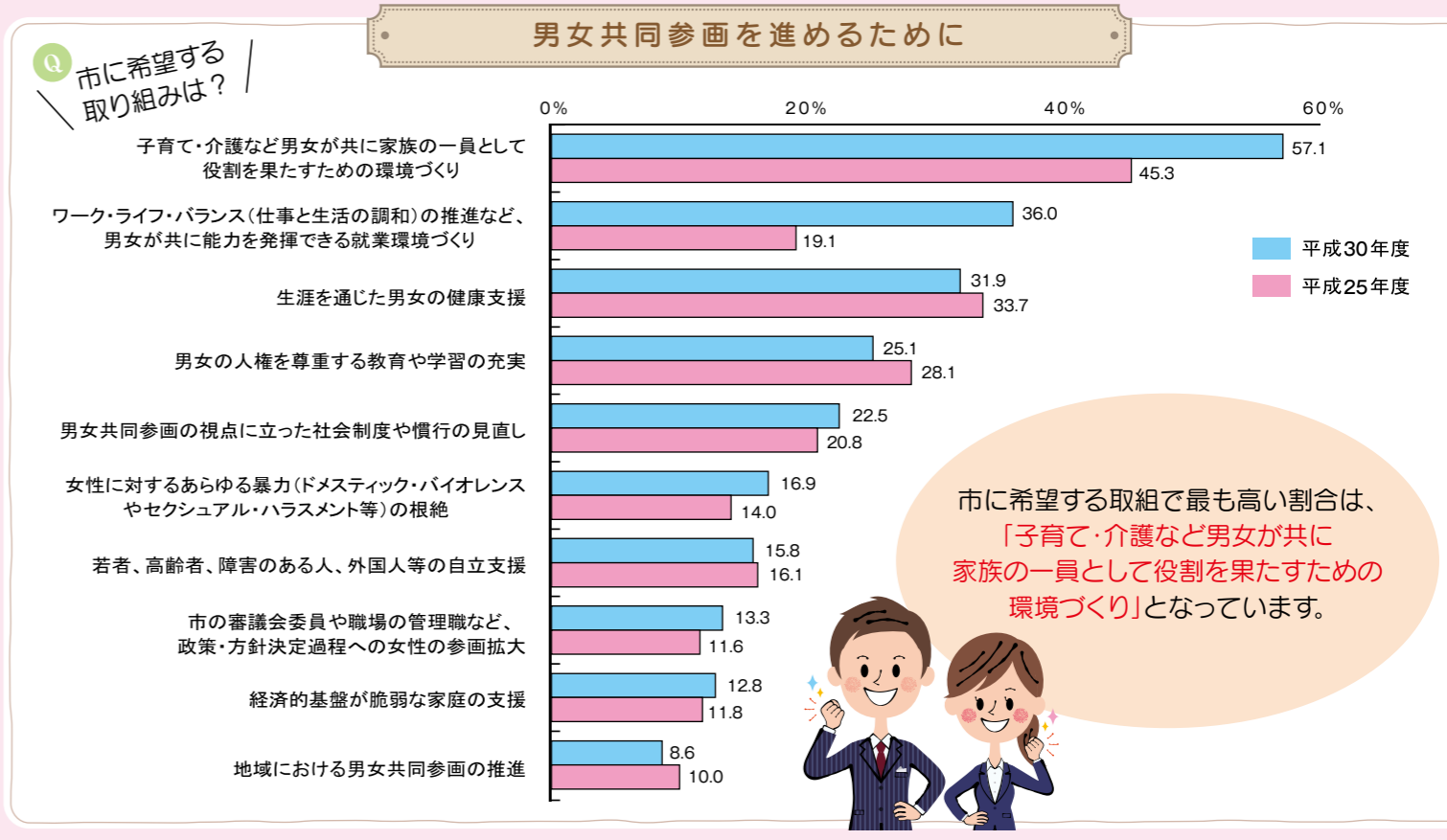


生活の中での優先度、理想と現実とは?

「両立を理想としているものの、現実では「仕事」を優先している」という回答の割合が高くなっています。



男女平等への意識が高まりつつも、実際には男性が優遇と思う回答の割合が高くなっています。「学校教育の場で」は男女平等と思う回答の割合が多くなっています。



市に希望する取組で最も高い割合は、「子育て・介護など男女が共に家族の一員として役割を果たすための環境づくり」となっています。

平成20年に島田市は「男女共同参画都市宣言」をしました。あれから10年。学校教育の場では男女平等の意識が高まり、「個性」が大事にされるようになってきましたが、社会においては、まだ男女平等感が低くなっています。私たちは、互いの個性を尊重し、支え合い、多様な選択肢がある環境を意識し、行動していきたいですね。

